

## みやぎ生協 福祉活動助成金 助成活動報告書

団体名	特定非営利活動法人キミノトナリ	
代表者名	東田美香	
連絡先	〒984-0065 宮城県仙台市青葉区土樋 1丁目1番24-202号 (電話) 090-6781-9892 (FAX) なし	E-mail kiminotonarisendaisos@gmail.com

## 1、助成事業報告

助成を受けた事業名	にんしん SOS 仙台
事業の目的	「予期しない/計画していない妊娠」をした女性の中には、親・学校・職場等に絶対に知られたくないため誰にも相談することができない人が一定数存在する。そこで、当事業では、直接の知り合いや行政には相談できない妊婦がアクセスしやすい妊娠 SOS 窓口を設け、相談の敷居を低くすることによって、適切な支援へと結びつける。そして、予期しない妊娠をした女性とその子どもの命と生活を守ることに寄与することを目的とする。
事業の具体的内容	<p>1 相談事業</p> <p>(1) 相談 主に予期しない妊娠・出産に関する若年女性からの相談を受け付けた。相談手段は、電話、メール、SNS (Twitter、Facebook、インスタグラム等)。 電話相談は毎週火曜・木曜・土曜の午後5時から午後10時、その他の手段では随時受け付けた。</p> <p>(2) 相談員育成 電話相談受付時間の拡大や、メール等相談の回答速度向上のため、相談員を増員した。 また、法人代表者が外部団体のオンライン研修(妊娠相談のあり方について)を受講し、受講内容を他の相談者と共有した。</p> <p>2 支援事業</p> <p>(1) 同行支援 上記1の相談者の中に、行政機関や医療機関への同行を希望する女性がいた場合、同行し、各種手続のサポートをした。また、医療機関受診の前提として、妊娠検査薬による妊娠検査をサポートした。</p> <p>(2) 生活支援 上記1の相談者の中に、生活基盤が不安定な女性</p>

	<p>がいた場合、行政の手続による生活基盤安定までの期間の生活を支援した。</p>
活動の開始から完了までの流れ	<p>相談ケースについて、一例を挙げる。なお、プライバシーに配慮して内容を抽象化している。</p> <p>1 相談の端緒 当法人のホームページから「妊娠しており、妊娠後期になっているが、今まで妊婦健診を受診していない。生活も不安定で、今後どうしたらいいか分からない。」との相談があり、相談員が対応。 LINE にて何度か文章のやり取りをした後、LINE の無料通話にて相談員と相談者が会話し、詳細を把握する。</p> <p>2 関係機関との調整 相談内容を踏まえて、相談員から連携先病院及び行政機関に連絡し、相談者の受診の予定を組む。</p> <p>3 面談相談及び同行支援 相談員（助産師、社会福祉士）が相談者本人と面談し、生活状況についてさらに詳細を確認。 その後、行政機関に同行して母子手帳の発行を受け、そのまま連携先病院の受診に同行。</p> <p>4 出産前後の支援 相談者と家族との関係が不安定であったため、引き続き LINE でのやり取りを続ける。 その後、相談者は無事出産し、家族との関係も安定したとの報告があったため、支援終了とする。</p>
活動の成果と教訓	<p>1 活動の成果 事業期間中の相談者数は合計 40 人、相談回数は延べ 201 回であった。 その他の詳細は活動成果物として添付の会員向けニュースレター記載のとおり。</p> <p>2 教訓 (1) SNS 窓口の重要性 相談の端緒は SNS を経由したものが約 60% を占めていた。 このことから、事業開始前に想定していたとおり、事業目的に掲げた「アクセスしやすい妊娠 SOS 窓口」には、SNS 窓口を設けることは必須であったことが分かった。</p> <p>(2) 宮城県（東北地方）における需要 相談者の居住地は、相談者総数の 6 割が宮城県、7 割が東北地方だった。 宮城県内、東北地方における妊娠相談窓口の需要が把握できた。</p> <p>(3) 相談者の属性及び相談内容の多様性 「妊娠・出産」に関する若年女性からの相談が多く、</p>

	<p>全相談数のうち、実際に妊娠していたケースは約50%だった。一方、男性からの相談や、過去に実子を養子として託した件についての相談等もあった。</p> <p>相談員としても、多様な相談者及び相談内容に対応する用意が必要であることが分かった。</p> <p>(4) 他団体との連携拡大の必要性</p> <p>「妊娠・出産」以外の相談である場合にも、適切な支援団体（DV支援、傾聴支援等）に繋げることができた。</p> <p>また、東北地方以外の地域からの相談も一定数あるため、他地域の妊娠相談団体との連携が必要であると感じた。</p>
今後の展望など	<p>妊娠相談窓口の需要が大いにあることが分かったため、今後も当法人の事業として、窓口の運営を継続する。</p> <p>今後は、相談員の研修受講の機会を増やし、様々な相談内容に対応できるよう相談技術を向上したい。</p> <p>また、相談窓口として、現在運営している SNS 窓口だけでなく、若年者が日常的に利用している動画サイト（YouTube、TikTok）等にも窓口を拡大していきたい。</p>

## 2、助成金使途報告書

### ■ 収入の部

確保した資金内容	金額（円）	備考
1 福祉活動助成金	494,000	
2 自己資金	150,261	当法人の会費収入
合計	644,261	

### ■ 支出の部

費目	内容	予算額（円）	実支出額
1 通信機材購入費	①パソコン 263,780 円 ②音声編集ソフト 24,000 円 ③ミキサー 21,780 円 ④マイク 7,524 円 ⑤マイクケーブル 7,095 円 ⑥ヘッドホン 4,378 円	320,000	328,557
2 妊娠検査薬購入費	相談者から希望があった場合に提供する妊娠検査薬。	14,000	14,833

3 相談窓口維持管理費	事業用ウェブページ保守管理費用。月額 15,000 円×6 か月分。	90,000	90,000
4 相談窓口広報費	①相談窓口ロゴデザイン費用 44,000 円 ②相談窓口広報リーフレット印刷費用 23,551 円 ③相談窓口広報リーフレット郵送費用 24,150 円	70,000	91,701
5 相談者同行支援費	相談者が行政機関や医療機関への相談員の同行を希望した場合の同行交通費等	70,000	22,610
6 相談者生活支援費	生活支援が必要な相談者の宿泊費及び食費等	200,000	96,560
合計		764,000	644,261

\*用紙が足りない場合は他の用紙などで補ってください。

### 3、送付必要書類

- ① 福祉活動助成金 助成活動報告書  
プリントアウトしたものを 1 部郵送、データもメールでお送りください。
- ② 領収書のコピー (郵送)
- ③ 成果物 (活動の様子がわかる写真、または事業で作成したものを郵送)  
\*写真は郵送とメールで送ってください。

にんしん  
SOS  
仙台



特定非営利活動法人

**キミノトナリ**

**ニュースレター Vol.1**  
**2020-2021**

## TOPICS

- ・代表理事挨拶
  - ・理事挨拶
- ・相談件数のまとめ
- ・スタッフ、ご寄付者名
  - ・お知らせ
  - ・寄付先など

## 代表挨拶

新緑の季節となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

2019年度、約2カ月に1度ずつ開催しておりました「赤ちゃんポストと子どものいのちを考える会@sendai」が「特定非営利活動法人キミノトナリ」に生まれ変わり、早1年が経とうとしております。「赤ポス会」の時からご賛同・ご協力くださった皆様には、心より感謝いたします。また、キミノトナリ設立後に当団体のことを知り、ご協力を申し出てくださった方も、たくさんいらっしゃいます。私一人で始めた活動に、こんなにも多くの方々から心を寄せられていることに、どれほど感謝してもしきれません。本当にありがとうございます。

2020年6月に法人設立、8月より「にんしんSOS仙台」相談窓口を本格開設致しましたが、初年度にも関わらず、月平均5件の新規相談が寄せられています（詳細な統計については、5頁をご参照下さい）。「さっき性行為をしたのだが、妊娠したのではないか不安」というものから、「妊娠9カ月で病院に行っていない」というものまで、様々なレベルのご相談があります。また、妊娠の当事者である女性だけでなく、パートナー、親御さん、あるいは性についての悩みを抱える男性、何十年も前に養子として託した子どものことについて考えているご高齢の方など、属性も様々です。「妊娠相談」といっても、これくらいの幅のあるご相談が寄せられるものか、と、窓口を始めて、改めて実感しております。

ご相談のほとんどは、1日または数日間の電話、メール、チャットのやり取りで解決しますが、中には、直接お会いしてじっくりお話しするケースもあります。病院・役所・弁護士事務所に同行したり、引っ越しの手伝い、部屋の大掃除、買い物同行、居所探し、不動産の内見立ち合い、中期中絶した胎児の火葬の立ち合い等、何でも屋さんの様相を呈しています。また、継続支援させていただいている妊婦さんのほとんどは、原家族に恵まれていないため、お誕生日祝い、戌の日のお参りなども一緒にさせて頂いています。差し上げたお守りを「大切に持って出産に臨みました」「これで乗り切れました」という報告を聞くと、彼女たちの心の支えにほんの少しでもなれたなら良かった、と、温かい気持ちになります。

私たちがこうして活動できているのも、ご賛同・ご支援頂いている皆様のおかげです。

どうぞこれからも、末永くお見守り下さいますよう、お願い致します。

代表理事 東田美香

## 理事挨拶

日頃よりNPO法人キミノトナリの活動に、ご理解とご支援をいただきまして、ありがとうございます。理事を務めております真山萌です。代表理事と法科大学院の同期だったご縁で、当法人の前身となった勉強会に参加し、副代表を務めております。

初めてのニュースレター発行ということで、まずは自己紹介をさせていただきます。私は仙台市の出身で、現在は福島県郡山市の弁護士事務所で勤務弁護士をしています。もともと、弁護士登録直後から、子どもの権利に関する委員会に所属して活動しており、子どもに関する分野の公益活動に注力したいと思っていました。そうしたところ、代表理事からお誘いいただき、当法人の理事を務めることにしました。法人内では、各種書類の作成、助成金申請、相談者への法的助言等を担当しています。

さて、法人設立後、相談窓口開始から約11か月が経過し、予想以上の相談数があり、正直に言って驚いています。重大な事案の相談があった時には、窓口を始めた意義を感じる反面、「もし、この窓口がなかったらどうなっていたのだろう」と想像して空恐ろしい気持ちになることもあります。

今後も、柔軟な対応が可能な民間の妊娠相談窓口として、ニーズがなくなるまで活動を続けていきたいと考えております。なにとぞ温かいお気持ちで見守っていただければ幸いです。

副代表理事 真山萌



新型コロナ感染症の渦中、おかげ様で「特定非営利活動法人キミノトナリ」も、皆さまからの多大なるご支援を受け、開設1周年を迎えようとしています。

これまで、微力ではありますが、キミノトナリの助産師として一緒に活動させて頂きました。戌の日の帯祝い（腹帯巻き）や、安産祈願のため神社へ一緒に参拝したり、病院受診の同行や、産後の訪問等を行ってまいりました。本来であれば、ご家族の方々と一緒にいることですが、残念ながら叶わぬ状況にありますので、少しでもそのような方のお役に立てましたこと、大変嬉しく思っております。

私自身は、昨年「妊活応援産院ぶらすわん」を開設し、普段はお子さんを望んでいる方の相談に応じたり、血流アップとリラクゼーション目的でのリンパマッサージの施術を行ったりしております。キミノトナリの活動は、これまでの知識と経験を活かして行動できる場面と、これまでの価値観を覆させられる場面もあり、いろんな角度から物を見ることができるようになりました。アラ還おばさんではございますが、日々成長できていると実感しております(笑)。

まだまだ、生まれたばかりのひよっこ事業ではございますが、今後も引き続きご支援を賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。

理事 阿部美喜

キミノトナリの理事を務めさせていただいております、安部葉子と申します。平素より「特定非営利活動法人キミノトナリ」の活動にご賛同・ご協力賜り、心より感謝申し上げます。

これまで、キミノトナリ助産師としての活動は多くできておりませんが、産前産後に必要な衣類や物資の寄付を募り、暖かいご支援を相談者の方々にお渡ししてきました。また、マイナートラブルの対処方法の説明等を行い、微力ながらお手伝いさせていただいております。

私自身は現在、看護師・助産師教育を担わせていただいております。教育の中では、対象者主体で考えること、世の中で起きている問題や課題に目を向けることを大切にすよう伝えていきます。キミノトナリでの活動は、私自身がその信念をブレることなく持ち続けることにつながっていると感じ、参加できることにとても感謝しております。

新型コロナウイルス感染拡大により、私たちの生活は大きく変化しております。こんな時代だからこそ、私たちの支援を必要とする方が増えてくると考えられます。相談員をはじめ活動に関わる全てのスタッフが真摯に対象者と向き合い、よりよい方向に進んでいけるよう支援していく所存です。

今後も引き続きご支援賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

理事 安部葉子



特定非営利活動法人キミノトナリの理事、北山潔です。1959年、京都市生まれ、外資系半導体メーカーでエンジニアを25年務めました。その後、ハローワークの相談窓口で職業相談員として10年務めました。「性教育を考える会@仙台」代表として、性教育の啓発や普及を仙台で進めております。

性教育としては、思春期の子ども達だけを対象にするのではなく、幼児から大人まで、幅広い年代の人を対象に性教育を進めたいと考えております。現在は「包括的性教育」が必要とされています。単に妊娠、出産や第二次性徴についての学びをするだけでなく、ジェンダーや人権問題、コミュニケーションの取り方やインターネットの使い方まで、「生きる」ために必要な能力や姿勢を幅広く「包括」できる「包括的性教育」を進めます。

相談分野では「寄り添うカウンセラー」として、就職相談から性の相談まで、穏やかにお話を伺います。キミノトナリでは、数少ない男性相談員として男性視点での相談・助言を進めております。パートナーの妊娠や性の問題でお困りの男性も、お気軽にお声がけください。

このような我々の活動は、様々な形で皆様方からありがたいご支援やご協力を頂いているからこそ進めることができます。

今後とも引き続き応援をいただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

理事 北山潔

キミノトナリが発足して11ヶ月が経過しました。皆様には日頃からあたたかなご支援をいただき、心より御礼申し上げます。

私は社会福祉士・保育士として、様々な事情を抱えた女性を支援するために「LETS仙台」というケアハウスの所長になって3年目になります。LETS仙台に寄せられる相談は、制度で生活を立て直せる場合が多く、相談を受けると役所に同行することが多いです。キミノトナリでも主に生活保護などの制度申請同行や、女の子たちの話の傾聴や助言を行っております。所持金が1万円を切っていたとしても、女の子たちは「自分が生活保護を受けていいのかな」「生活保護は嫌だな」と話す方が多いですが、生活保護は憲法25条で定められた「生きる権利」です。それぞれの声に耳を傾け、どうしたら2週間後もお金に困らずに衣食住を保てるか一緒に考えるように努めています。

キミノトナリに相談して下さる女の子たちは、皆、家庭環境に大きな問題を抱えていることがほとんどです。幼少期からの虐待や、DV、金銭的・性的搾取など、許しがたいバックグラウンドを持っている女の子たちが、声を上げられず、藁をもすがる気持ちで私たちに相談してくれているという現実があります。女の子たちと赤ちゃんを1人でも多く助けることは目下の課題ですが、このような悲しい相談が減っていく社会の実現を目指していきたいと考えています。

今年もまた1年、チーム一丸となって女の子と赤ちゃんたちを支えて参りますので、引き続き応援をお願いいたします。

理事 松田彩絵



継続支援している妊婦さんの成人式をスタッフでお祝いしました（左上）  
戌の日に、安産祈願のお参りをしました。  
元気な赤ちゃんが生まれますように（右上）  
毎週水曜日22:00～エフエムたいはくにて、  
キミノナラジヲON AIR中です！（左下）

# 相談対応件数

2020年8月～2021年3月

継続相談延べ件数について

※「継続 延べ相談回数」は、おひとりの方との1日のやりとりを、まとめて1回とカウントしています。

※生活支援などに移行した「継続支援」の方とのその後のやり取りは、統計に入れていません。

	新規相談者数	継続延べ 相談回数
8月	2人	16回
9月	3人	22回
10月	2人	9回
11月	3人	17回
12月	5人	14回
1月	10人	22回
2月	5人	43回
3月	10人	58回
合計	40人	201回



赤ちゃん誕生  
おめでとう  
ございます!

キミノトナリで継続支援している妊婦さんのお一人が、3月に無事ご出産なさいました。

継続支援第一号の赤ちゃんだったので、代表の喜びもひとしお!

お母さんと赤ちゃんへの支援は、これからも続きます。